

キリンビール 2012年7月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル市場販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、天候不順の影響を受けマイナスとなったものの、市場平均を上回った。
- ビール計は、マイナス。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、マイナス。

《ビール》

- ◆「一番搾り」は、市場同様にマイナスとなったものの、新食感の生ビール「一番搾りフローズン〈生〉」の発売効果で、市場平均を大きく上回った。

《発泡酒》

- ◆「淡麗」シリーズは、マイナスとなったものの、市場平均を上回った。7月25日に発売した「淡麗」「淡麗グリーンラベル」を中心とした「サッカー日本代表応援缶」が堅調に推移。

《新ジャンル》

- ◆7年連続売上げNo.1※1の「のどごし〈生〉」は、市場同様にマイナス。今後も最盛期に向けてリニューアルした新しい「のどごし〈生〉」を大々的に訴求していく。
※1 2005年「その他の雑酒②」、2006年~2011年「その他の醸造酒（発泡性）①」課税出荷数量による

《RTD》

- ◆「氷結」は、季節限定商品発売時期のズレにより、7月はマイナスとなったものの、累計ではプラスと依然好調に推移。

《その他》

- ◆“世界初※2、アルコール0.00%”の「キリンフリー」は、マイナス。今後は、7月18日に発売した「ゼロハイ シチリア産レモン」、8月29日に発売する「グレープフルーツ」とともにノンアルコール飲料トータルで店頭を盛り上げていく。
※2 ビールテイスト飲料カテゴリーにおける。当社調べ

2. 洋酒販売動向

- ウイスキー計は、一部終売品の影響や、ハイボールブームで高い伸びとなった昨年の裏返しもあり、マイナス。

- ◆「ジョニーウォーカー」は、「ジョニーウォーカー ダブルブラック」発売効果もあり、約1割のプラス。

以 上